

第12号

2021年
12月22日



Safety Mail

● 滋賀県警察本部交通企画課 ●

県内の交通事故発生状況

《令和3年11月末現在の人身事故》

	件数	死者	傷者
本年	2,567	32	3,187
前年	2,607	43	3,224
増減	-40	-11	-37

〈高齢者の事故〉

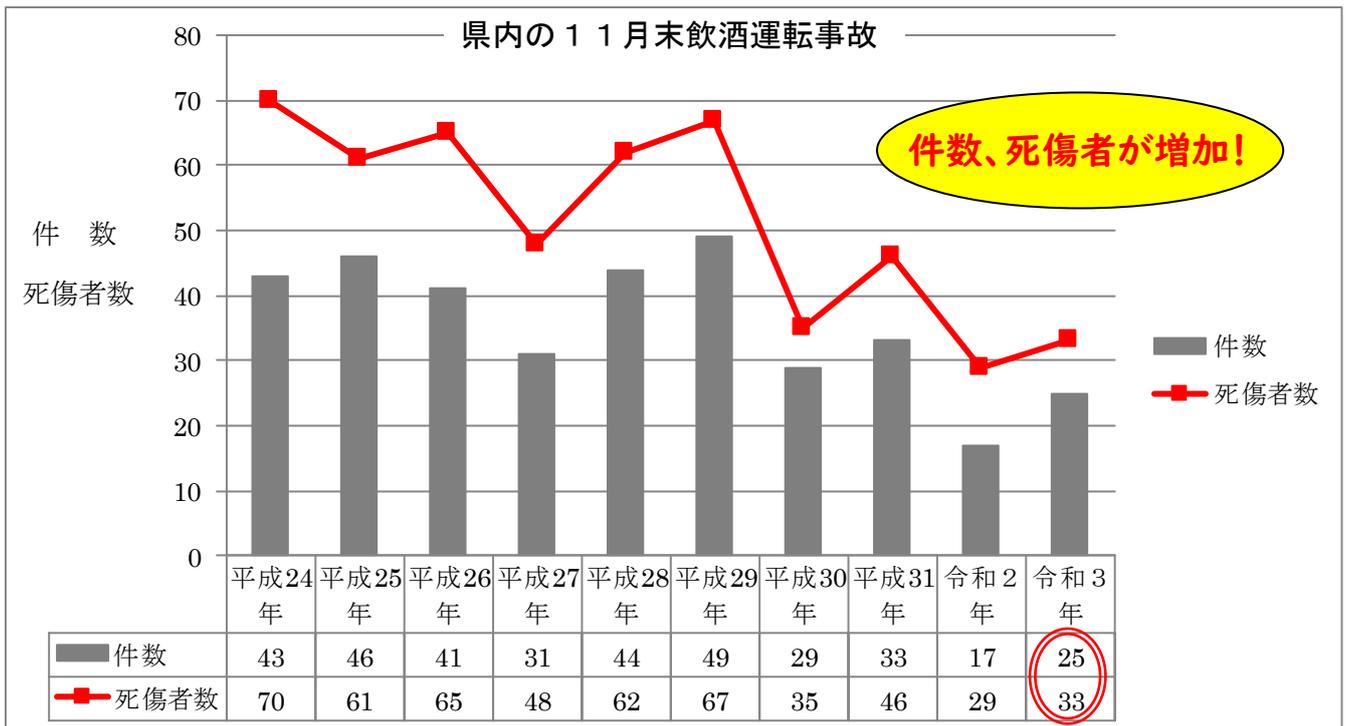
※高齢者…65歳以上をいう



	件数	死者	傷者
本年	828	16	453
前年	817	18	432
増減	11	-2	21

過去10年

県内飲酒運転事故の推移



飲酒運転は
「しない・させない・許さない！」



酒類提供



飲酒運転車両
への同乗



車両提供

★飲酒運転が及ぼす影響

- ・周囲に対する注意力が鈍る
- ・判断力が低下して危険を見落とす
- ・ブレーキ等の反応・操作が遅れる
- ・気が大きくなってルールを無視する

危険

特に年末年始の時期は飲酒する機会が増えます。飲酒運転撲滅のためにも飲酒運転をしない・させない・許さないを徹底しましょう。



私はこれまで交通違反をして違反切符を切られても反省するのはその時だけで、次の日には何もなかったかのように車を運転していました。そのような交通ルールに対する甘い考えを持っていたからこそ、悪質極まりない事故を起こしてしまいました。

その日は、会社全体での食事会でした。給料日は会社全体で食事をするので決まっていますので、仕事を終えた私は、午後7時頃、食事会をするお好み焼き屋に入りました。食事もお酒も進み2軒目に居酒屋に行き、3軒目にも行きました。何杯飲んだか覚えていませんが、だいぶお酒を飲んでいました。

朝方4時頃になり、そろそろ解散することになりました。実はその日、私はお好み屋まで車で来ていました。そして、少しの距離だから大丈夫と決めつけ、会社の仲間を乗せて車を発進させました。2人をそれぞれの自宅に送った後、私も自宅に帰ろうと車を発進させました。しかし、仕事を終え、酒も飲み、前日からほぼ24時間起きていた私に眠気が襲ってきました。早く帰ろうと片側2車線の見通しのよい幹線道路を時速90キロメートル近いスピードで、しかも、シートベルトを着用せず走行していました。

運転の途中、飲食代でいくら使ったか気になり、ルームランプを付け、財布の中身を確認しながら走行していました。そして交差点に差し掛かり、ふと前を見ると、青いジャンパーを着た人が急に目の前に現れました。ビックリして、慌ててハンドルを左に切りましたが間に合わず、車の右側に衝突して「ドン」という鈍い音がしました。

なんとか車の体勢を整え、運転席側のミラーを見たところ、ミラーがありませんでした。直ぐに「人を撥ねた」と分かりましたが、「飲酒運転がばれる」と思い、その場から逃走してしまいました。

その後、被害者のことが気になり、一旦は事故現場に戻りましたが、救急車が到着しているのを確認すると、自首することなく自宅に戻りました。自宅に戻ってから心臓が飛び出しそうなくらい焦っていましたが、仕事の疲れと、アルコールの影響もあったことから眠ってしまいました。事故を起こしたのが朝の4時半頃、眠りについたのが1時間後の5時半頃、そして、その日の午後4時頃に刑事さんが自宅に来られ、任意同行の後に逮捕されました。

逮捕後、刑事さんから「被害者の方が亡くなられた」と告げられた時には頭が真っ白になりました。弁護士を通して謝罪の手紙を出させていただいたのですが、読んでほられませんでした。公判が始まり、その時に初めて被害者の御遺族とお会いしました。被害者の娘さんの「父を帰してください」という言葉を今でも忘れることができません。そして、過失運転致死、道路交通法違反の罪で懲役4年の判決を言い渡され、市原刑務所に服役することになりました。

事故を起こして、御遺族の心に癒えることのない大きな傷をつけてしまいました。また、家族、友人、会社など私の周りの人たちにも罪を犯したことで、ご迷惑と心配をかけてしまいました。

出所後は、御遺族に直接謝罪させていただけるよう弁護士を通じて手紙を出したいと思っています。しかし、私が謝罪をしたくても、ご遺族は私に来てほしくないと思っているかも知れません。これからは、御遺族の気持ちを最優先に考えたうえで償いを行っていきたいと思っています。そして服役中はもとより刑期が満了してからも、自分に償いとして何ができるのかを模索しながら生きていきます。

(一財)東京都交通安全協会 「贖いの日々」より



飲酒運転は犯罪です!!

STOP!
飲酒運転!



自分勝手な行動で悲惨な事故を起こさないことが大切です!

事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるようご協力ください。

TEL 077-522-1231 (代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp